

京坂日報

刊 九
(火) 日一十月九
秋 七
銘仙
新 秘
豊 新
富 祿
店 永 興 一 丸

徳風を作興せよ

教育界不祥事の頻發を深慨

總督訓示

訓示 官制ニ
教育界の不祥事は、頻りに續いて、國民の心を驚かし、國家の前途を憂ふに至る。茲に、教育界の不祥事を深慨し、國民の心を安んずるべく、訓示する。教育界の不祥事は、頻りに續いて、國民の心を驚かし、國家の前途を憂ふに至る。茲に、教育界の不祥事を深慨し、國民の心を安んずるべく、訓示する。

支那愈々合法的に 法權撤廢を提議

まづ地方的に於て全撤廢へ
列國會議を要求

支那の法權は、愈々合法的に撤廢される。まづ地方的に於て全撤廢へ、列國會議を要求する。支那の法權は、愈々合法的に撤廢される。まづ地方的に於て全撤廢へ、列國會議を要求する。



旅の視巡海黄

理事國の 選舉終る

スベイン、ベル
シヤ、ベネズエラ

「ジュネーヴ」十日電
「ジュネーヴ」十日電、理事國の選舉は、スベイン、ベルシヤ、ベネズエラが當選した。

九軍廿四師に 新編成終る

閻錫山の裁兵方針

「東亞」天津十一日電
「東亞」天津十一日電、九軍は、閻錫山の裁兵方針に従って、新編成を終了した。

行政講習會 けふ開會式

地方自治講習會
地方自治講習會は、今日、開會式が行われた。

害水鮮北 集募金捐義

北鮮の水害は、甚だしく、義捐金を募集する。北鮮の水害は、甚だしく、義捐金を募集する。

神宮奉拜 十日、神宮奉拜した。神宮奉拜 十日、神宮奉拜した。

教員服務及德教の振作
に關する總督訓示に就て
李 學 務 局 長 談

矢田總領事
上海へ歸任
「上海」十一日電、矢田總領事は、上海へ歸任した。

九軍廿四師に
新編成終る
閻錫山の裁兵方針

行政講習會
けふ開會式
地方自治講習會

害水鮮北
集募金捐義
北鮮の水害は、甚だしく、義捐金を募集する。

支那愈々合法的に
法權撤廢を提議
まづ地方的に於て全撤廢へ

徳風を作興せよ
教育界不祥事の頻發を深慨
總督訓示

京坂日報
社報日城京

妖鬼流血録
長谷川 伸 作
伊藤 久造 畫



あすの天気
晴一時曇
仁川 晴一時曇
午後一時曇

御大禮紀念

天璽無窮の天津日耐の御位に
登らせ給ふ御位位の御大禮は海
に噴古の御威儀にして同胞共し、
飲仰慶祝に堪えなれど御座います
弊所は此の御位に際し衷心祝意を表する
と共に御位に依り御慶祝に努める為左の
御味ある方法に依り御慶祝に努めますから
此の好機會に最盛の御位に御位に努めら
ん事を具言御位に申上ります

宮内省御用達 嶋屋醸造所
京城 奉天

景品大附賣

景品大附賣 三萬樽
大形ホーロー洗面器 進呈
或ハ炊事用洗面器 進呈
及ビ抽籤券 進呈

| 等別 | 景品 | 数量 |
|----|-----------|------|
| 一等 | 大形ホーロー洗面器 | 1000 |
| 二等 | 中形ホーロー洗面器 | 2000 |
| 三等 | 小形ホーロー洗面器 | 3000 |
| 四等 | 大形ホーロー洗面器 | 4000 |
| 五等 | 中形ホーロー洗面器 | 5000 |

京城日報

第三千六百九十四號
（日）一九三四年九月二十日
（水）

春秋社の豫約配本

世界大思想全集

ベトナム著
田村佐重譯
功利論

ミル著
高橋久則譯
自由主義論
功利主義
婦人の隷従

第六回
ベトナム著
小澤井不木譯
エンサイクロペディア

第九回
ベトナム著
小澤井不木譯
エンサイクロペディア

社會辭典

第九回
ベトナム著
小澤井不木譯
エンサイクロペディア

第十回
ベトナム著
小澤井不木譯
エンサイクロペディア

第十一回
ベトナム著
小澤井不木譯
エンサイクロペディア

第十二回
ベトナム著
小澤井不木譯
エンサイクロペディア



子供研究座

父母教師その他子供を愛し國をおもふもの等々... 全日本の人氣みな本書に!

初版五萬部賣切... 見よ大評判の第一巻

この聲望... 第一巻目次
後藤三郎博士、佐藤三郎氏、千葉雄雄氏、松本太郎博士、茅野雅子氏、新渡戸博士

手製の人間

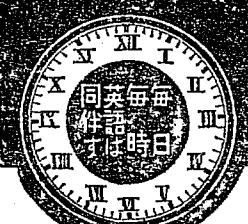
第三回配本・岡本二平集・開始本
繪を見て先づ大いに笑ひ、文を読んで人生の和樂を知る!!

此「大増刷断行」... 發行集全アモウユ代現

英語通信講座

親切第一 設備完全

英語新讀本、英語讀本辭書、英語習字手本、英語マインド、別冊五大附録



目丁六町見士富區町市京東
部學信通社究研
【番五八〇三京東替振】

金銀地金買入
徳力出張所

職業選擇法

大日本職業指導協會編纂
職業指導讀本

高等圖學

熱學

辭典

出版元 中六町五丁目四番地東京市山手区
電話九百九十九番 裳華房

發行所 東京市本町三丁目 博進堂書店

資本金57,500,000圓
積立金61,550,000圓
日二通門大南府城京
行銀一第
店支城京

商業登記公告
右列各商號... 商業登記公告
右列各商號... 商業登記公告
右列各商號...

徳風作興の訓示

徳風作興の訓示... 徳風作興の訓示...

直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却

雪崩を打って総退却... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

結局開外に遁走か

結局開外に遁走か... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

熱河に逃げ込むか

熱河に逃げ込むか... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

大衝突の機は

大衝突の機は... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

我軍は厳正中立

我軍は厳正中立... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

英佛間には

英佛間には... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

カナモジカを笑ふ

カナモジカを笑ふ... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

松花江へ

松花江へ... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

甲午革新を偲ぶ

甲午革新を偲ぶ... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

韓昌洙男談

韓昌洙男談... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

直魯軍戦意失せ

直魯軍戦意失せ... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

雪崩を打って

雪崩を打って... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

総退却

総退却... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

結局開外に

結局開外に... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

遁走か

遁走か... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

熱河に逃げ

熱河に逃げ... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

込むか

込むか... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

大衝突の機

大衝突の機... 直魯軍戦意失せ、雪崩を打って総退却...

松花江へ (二) 三好武二

カナモジカを笑ふ (九) 大伴黒主

甲午革新を偲ぶ (三) 韓昌洙男談

直魯軍戦意失せ 雪崩を打って 総退却

結局開外に 遁走か 熱河に逃げ 込むか

大衝突の機は 我軍は厳正中立

改名謹告!! スミタ

改選者氏名

改選者氏名 (続)

改選者氏名 (続)

改選者氏名 (続)

改選者氏名 (続)

ルメラヤキンボリ治明

錠ルーコーヤシホ

日本ゼネラル・モーター株式会社

トルストイを想ふ

佐藤圭四郎

地に時かれ た一粒の麥

トルストイの遺稿を讀むにつれて、彼の人生の軌跡が、まるで目の前に展開するやうな感じがする。彼は、ただの作家としてではなく、一つの時代を代表する巨匠として、世にその名を残した。彼の作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。彼の人生もまた、その作品と同じく、一つの偉大な物語である。

京日歌壇 (四月四日)

尾上紫舟選
二十六年を前にして、京の歌壇は、その名を知らぬ人はいない。その歌壇の中心には、尾上紫舟の存在がある。彼の歌は、その独特の風格と、深い情感で、読者の心を捉える。彼の作品は、京の歌壇の歴史を語る上で、欠かせない存在である。

エス語初等

加藤伸作先生より
「エス語初等」は、エス語を学ぶための最初の教材である。この教材は、エス語の基礎的な文法と語彙を、わかりやすく解説している。初心者でも、この教材を通じて、エス語の基礎をしっかりと身につけることができる。

父兄方のお禮

田上太次郎氏より
「父兄方のお禮」は、父兄方への感謝の気持ちを伝えるための文である。この文は、父兄方への感謝の気持ちを、簡潔に表現している。父兄方への感謝の気持ちを伝えることは、子どもにとって大切なことである。

加藤伸作先生より

「加藤伸作先生より」は、加藤伸作先生からのメッセージである。このメッセージは、加藤先生からの激励やアドバイスを含んでいる。加藤先生からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。

田上太次郎氏より

「田上太次郎氏より」は、田上太次郎氏からのメッセージである。このメッセージは、田上氏からの激励やアドバイスを含んでいる。田上氏からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。

加藤伸作先生より

「加藤伸作先生より」は、加藤伸作先生からのメッセージである。このメッセージは、加藤先生からの激励やアドバイスを含んでいる。加藤先生からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。

みなし影

北川左人
「みなし影」は、北川左人の作品である。この作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。北川左人の作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。

新挿の新聞

藤水見江
「新挿の新聞」は、藤水見江の作品である。この作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。藤水見江の作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。

ヨシラビ

「ヨシラビ」は、ヨシラビの作品である。この作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。ヨシラビの作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。

エス語初等

「エス語初等」は、エス語を学ぶための最初の教材である。この教材は、エス語の基礎的な文法と語彙を、わかりやすく解説している。初心者でも、この教材を通じて、エス語の基礎をしっかりと身につけることができる。

父兄方のお禮

「父兄方のお禮」は、父兄方への感謝の気持ちを伝えるための文である。この文は、父兄方への感謝の気持ちを、簡潔に表現している。父兄方への感謝の気持ちを伝えることは、子どもにとって大切なことである。

加藤伸作先生より

「加藤伸作先生より」は、加藤伸作先生からのメッセージである。このメッセージは、加藤先生からの激励やアドバイスを含んでいる。加藤先生からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。

田上太次郎氏より

「田上太次郎氏より」は、田上太次郎氏からのメッセージである。このメッセージは、田上氏からの激励やアドバイスを含んでいる。田上氏からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。

みなし影

北川左人
「みなし影」は、北川左人の作品である。この作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。北川左人の作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。

新挿の新聞

藤水見江
「新挿の新聞」は、藤水見江の作品である。この作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。藤水見江の作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。

ヨシラビ

「ヨシラビ」は、ヨシラビの作品である。この作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。ヨシラビの作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。

エス語初等

「エス語初等」は、エス語を学ぶための最初の教材である。この教材は、エス語の基礎的な文法と語彙を、わかりやすく解説している。初心者でも、この教材を通じて、エス語の基礎をしっかりと身につけることができる。

父兄方のお禮

「父兄方のお禮」は、父兄方への感謝の気持ちを伝えるための文である。この文は、父兄方への感謝の気持ちを、簡潔に表現している。父兄方への感謝の気持ちを伝えることは、子どもにとって大切なことである。

加藤伸作先生より

「加藤伸作先生より」は、加藤伸作先生からのメッセージである。このメッセージは、加藤先生からの激励やアドバイスを含んでいる。加藤先生からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。

田上太次郎氏より

「田上太次郎氏より」は、田上太次郎氏からのメッセージである。このメッセージは、田上氏からの激励やアドバイスを含んでいる。田上氏からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。



南

「南」は、南の作品である。この作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。南の作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。

ヨシラビ

「ヨシラビ」は、ヨシラビの作品である。この作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。ヨシラビの作品は、人間の心の奥深くまで入り込み、読者の心を揺るがす力を持っている。

エス語初等

「エス語初等」は、エス語を学ぶための最初の教材である。この教材は、エス語の基礎的な文法と語彙を、わかりやすく解説している。初心者でも、この教材を通じて、エス語の基礎をしっかりと身につけることができる。

父兄方のお禮

「父兄方のお禮」は、父兄方への感謝の気持ちを伝えるための文である。この文は、父兄方への感謝の気持ちを、簡潔に表現している。父兄方への感謝の気持ちを伝えることは、子どもにとって大切なことである。

加藤伸作先生より

「加藤伸作先生より」は、加藤伸作先生からのメッセージである。このメッセージは、加藤先生からの激励やアドバイスを含んでいる。加藤先生からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。

田上太次郎氏より

「田上太次郎氏より」は、田上太次郎氏からのメッセージである。このメッセージは、田上氏からの激励やアドバイスを含んでいる。田上氏からのメッセージを、しっかりと受け止めることが、子どもにとって大切なことである。

事
三
神
父
三
神
父
三
神
父

